

第1回旧市民センター跡地活用検討委員会報告書

【日時・場所】

令和3年11月15日 15:00～16:00 @まちづくりセンター 第1会議室

【出席者】

旧市民センター跡地活用検討委員会委員

市民代表 (五十音順)	有 道 栄 作	綾部商工会議所青年部 会長
	泉 朝 子	綾女ねっと会長
	木 崎 仁 巳	並松町自治会長
	久 木 和 子	綾部市保育協議会長
	林 多嘉子	男女共同参画審議会長
	平 野 正 明	綾部地区自治会連合会長
	山 下 信 幸	綾部商工会議所 副会頭
	山 田 美奈子	綾部市PTA連絡協議会 副会長
市職員	山 崎 清 吾	副市長 座長
	吉 田 清 人	企画総務部長
	四 方 博	建設部長

【応募アイデアに関する説明】

- ・令和3年度6月8日から7月31日にかけて広くアイデアを募集した。
- ・以前にも自治会員の意見を集約した提案を並松町の自治会長様からいただいていた、活用案の提案をいただいていた。
- ・結果、155団体から提案をいただいた。10代が多く、学校として取り組んでいただいたところもある。
- ・傾向的には、提案内容は多岐にわたっているが、公園やイベントスペースなどのオープンスペース的なものが比較的多い。

【跡地と隣接地を含めた整備に関する意見】

- ・隣接の私有地についてはどうするのか。
→具体的に活用の計画が決定すれば、所有者と相談し、私有地も含めた整備を行うことも可能と考える。その際には市が所有者か土地を買い上げるということもあり得る。
- ・土手との高さはどうするのか。
→国交省との話になるが、今の跡地の高さで平らにし、土手まですりつけるようなことは可能と思われる。
- ・堤防との関係はどうなるのか。
→跡地と堤防をくっつけることは、国交省との協議次第で可能になると考える。

- ・整備にあたっては、土手までくっつけてしまうのがベストなのではないか。
→国交省に了解を取ってうえでになるが、そのように思う。

【活用方法に関する意見交換】

- ・「市民の憩いの場として、未来へ夢や希望をつなぐ活動の場として市民が広く活用できるような整備」、これで結論が出ている。すでに出ている多くの市民からの意見を整理する必要がある。特に思うのは、新たな建物を建てるとか、費用がこれから永遠に発生していくような、負荷がかかるようなものはするべきではない。綾部は少子化で、人の流入を考えていかないと、街自体が活性化していかない。誰が来てもそこに集まったら何かができるような、設備なしで、多目的に使えるような、市民にも開放し、市外の人にも開放するというようなことで考えていけるものを考えるべきではないか。市の税収の問題も少子化によって、だんだん減っていく。補助金が一時出て、その補助金使ってやったとしても、維持は、市がやっていかなければならなくなる。
- ・仮にものを建てるとしても交通の便もあまりいいところではない。4年先になると、高齢者ばかりの社会になって、若者がいなくなる。今後どうなっていくかもわからないようなところに、大きなものを建てるよりも、費用のかからず、利用しやすいところを整備していくべきではないか。
- ・子供がのびのびと遊べる公園のようなものを作ってほしいとの意見が圧倒的。コストがかからず、三世代が集えるような公園・運動場がよいのではないか。乳幼児などが、高齢者や綾部高校の生徒と一緒に遊べるようなところ。
- ・応募の中から、どんな整備を行うにしても、公衆トイレなどの必要最低限の設備は必要。必要なものと不必要なものを取捨選択しながら、調整していくべき。ハコモノは現実的ではない。跡地は風光明媚なところであり、花火大会を観覧するには一等地である。総合的に鑑み、一定の方向性を検討していくべきではないか。
- ・まちなかの公園が少なく、紫水ヶ丘公園は交通の便が悪く不便である。歩いて行ける公園がまちなかにあるのは良いと思う。高槻市のような公園ができればと思う。かわいらしいショップ、カフェ（綾高カフェ）を併設し、子供を連れて行きたくなるような気持ちいい公園がよい。近所のおじいちゃんおばあちゃんもみんなで集える公園がよいのではないか。
- ・商業施設は交通の便からも困難。公園が一番使いやすいのではないか。様々な公園があるので、他の事例を参考にすべき。綾部の現状に即したものにすべき。花火を観覧しやすいように、階段状に座れる造り設計してもよいのではないか。
- ・公園が一番手っ取り早い。建物を建てるのは壊す際にも経費がかかる。平地で考えるのがよいのではないか。人が来て和めるような場所にし、平地であるので利用用途を変更するときも楽である。市民の和み場になればよい。
- ・社会福祉協議会の場所の移動が望ましいという意見を聞いている。子どもたちが気兼ねなく

使える場所がほしいとのこと。土日祭日も利用できるような場所がほしいということと、子育て中のお母さんたちの意見としては、子育てで困ったときにワンストップの相談窓口がほしいという意見があった。子どもたちが主体として集まる場所があって、いろいろ遊べるところ、公園もしかり、遊び場もしかり、若いお母さま方が集って遊んでいただけるような場所がよい。それから、不登校とか引きこもりの子供たちもここに行ったら居場所があるんだよというような、場所を作っていたら、助かるというような意見があった。

- ・市街地にこれだけまとまった土地が確保できるっていうのは、そうある場所ではない。市街地で、景色がよく、なおかつ広大な土地というところであるので、ぜひうまく使えるような施設というのを検討いただけたらうれしい。
- ・街中にこれだけ固まった大きな用地がまず無い。紫水ヶ丘公園があるが交通の便が悪い。花火大会を観覧するには一等地であり、多目的に利用可能な公園的な広場というのが一番理想的なのではないか。このような施設があることによって、新しい住人が居住していくことにもつながるのではないか。

【まとめ】

- ・市民の憩いの場、未来、夢、希望をつなぐ活動の場、市民が広く活用できるような整備というコンセプトについては了承いただいた。
- ・建物を建てるのではなく、比較的成本をかけずに公園的な要素で使用していくという意見が多数。
- ・今回の意見を参考に事例を挙げながら、事務局がたたき台を本委員会に提示し、次回の委員会で一定の方向性を見出す。